



青少年のための芝居塾2021特集

演劇フェスティバル参加予定団体紹介/TAK in KAAT情報 ほか

青少年のための芝居塾2021

神奈川県立青少年センター スタジオHIKARI
2021年8月25日(水)～29日(日) 上演予定



文：吉浜直樹（劇団横濱にゅうくりあ）

演劇を志すあるいは学んでいる若者たちを対象に「高校生のための芝居塾」と題し2007年に始まった演劇体験プログラム。2010年からは「青少年のための芝居塾」として参加者の門戸を大学生や社会人にも広げ現在に至っている。

今年は5月26日まで募集し、29～30日にオーディション、6月5日に開塾式、6日から稽古がスタートした。引き受け劇団のメソッドは千差万別で、最終的な目標となる芝居の質も全く異なる。それが魅力でもありこれまでに年度をまたいで異なる劇団とのコラボレーションに挑戦してくれた若者たちは多い。今年の担当劇団はマシュマロ・ウェーブ。2019年から3年続けてとなるが、昨年はコロナの影響で残念ながら公演中止となった。作品は前回と同じく「銀河鉄道の夜」をベースにした「ギンテツ」だが、今年の塾生の個性を取り入れているという。8月の公演に向けて疾走を始めた2021年度版芝居塾の稽古場を覗いてみた。

稽古場にお邪魔したのは梅雨明け後半の7月上旬。稽古開始時刻に合わせて部屋に入ったら、すでにトレーニングテキストの読みが始まっていた。シェイクスピアの「テンペスト」第1幕第1場と第3幕第1場をテキストにして、2週間ほど前に配布し、各自台詞を入れたうえで場面設定などはほぼ即興で演技を行う。主宰である木村氏によれば「役として舞台に居続け、決して流れを止めないこと」を最重要課題としたのだという。

台詞出し稽古が始まった。重要なのは台詞を覚えて再現することではなく、芝居として与えられた時間空間を

しっかり生きること、との観点から、中には台詞をアドリブで吐き出す塾生もいる。すると相手役の塾生もそれに呼応してその場で言葉を返す。一つのグループが終わる都度、全員で講評し次へ進むという形。結果的にはお互いに仲間意識があつてかすべてのグループが合格となった。その後はそれぞれのグループで話し合つて確認あるいは修正し、そこで出た意見や気づきを木村氏が先生役となってボードに書き込んで集約し全員で共有した。こうした積み重ねの一つ一つが塾生たちの血肉になるのだろう。

まさに芝居漬けの1日であったが、演出を含めて皆愛称で呼び合うこの空気が楽しい。終了時間になってもなんとなく皆ワイワイした雰囲気の中であちこちで立ち話の輪ができています。芝居の稽古が、というよりここにいること自体が楽しくてしょうがない・・・そんな空気を感じた。



木村健三 氏

マシュマロ・ウェブ主宰
芝居塾2021 演出



■今年の芝居塾の位置づけは？

今年はぜひ芝居塾を実現したかった。作品は前回と同じ「ギンテツ」ですが、2019年と2021年では世情も参加動機も大きく変わりました。その中で今年ならではの芝居塾を目指しています。

■今回トレーニングとして「テンペスト」を使ったのは？

初めて演劇に触れるなら、王道であるシェイクスピアの台詞を覚え堂々と語ってもらいたいと考えました。

■今回の作品について

あくまで宮沢賢治の世界観を参加者全員で紡ぎだしていくことを第一義に考えてこの作品を選びました。昨年のリベンジというより、宮沢の世界を代表する作品として考えた結果だと思っています。

■演出として大事にしていることは？

芝居をみんなで作っていくことの過程を大事にしたい。公演至上主義ではないし、演劇における自主性やみんなで作っていくことの大切さを伝えられたらと考えている。だから作っていく過程で役者の意見が出てくれれば尊重したいと思っています。また育成の継続性も大事なことだと思っています。

北川篤郎 くん

塾生（大学2年生）
劇団かに座所属



■応募の動機は？

所属劇団からの情報がきっかけです。楽しそうという印象と3月の劇団の公演（演劇博覧会）でまだ未熟だった自分を視野に入れ、少しでも向上できればと応募しました。

■芝居経験は？

かに座が初めて。2020年の7月にかに座に入団して、11月公演は裏方で参加しました。その後、今年3月の演劇博覧会で初めて役者として立たせてもらいました。

■ここまでの芝居塾で得たこと・気づいたことは？

普段自分の所属する劇団とは違う感じの芝居があるなと感じました。外国人役を演じたり、今の時代ではない音楽をバックに演じることが初めての経験でした。（今回のテキストとなった「テンペスト」を指して）

■芝居・演技とは？

ドラマを見て「カッコいいな」という憧れから芝居に入ったので、やはりカッコよくて芝居できる人を見るとすごいと思うし、自分もうまく演じることが出来たら楽しいし満足感が得られるのではないかと思います。

但馬爽 さん

塾生（高校3年生）
学校の演劇部に所属



■応募の動機は？

コロナの影響でこの2年ほど演劇がしっかりできなかったの、「今年こそは！」の思いで応募しました。また2019年の芝居塾の舞台を見たときに装置や照明などが凄いのと思い、私もやりたいと思いました。

■芝居塾での目標は？

周りの勢いが上がってこない自分のテンションも上がらないタイプだと思っています。スロースターターなんです。芝居塾では自らテンションを上げて盛り上げていきたいです。

■自分にとって芝居すること・演ずることとは？

映画では流れは役者よりもスタッフが作ってくれる感じの部分があるけど、演劇は役者自身が流れを作る部分が多い。だから生の芝居が好きなんだと思います。

■芝居塾に参加してプラスになったことは？

役に入り込むことで出るものではなく、自分自身を素の状態を保ちながら独自の表現ができるようになったことが収穫だと思っています。



芝居塾2021『ギンテツ』
ご来場お待ちしております！

令和3年度 神奈川県演劇フェスティバル 参加予定団体紹介

「演劇が日常となる神奈川を」をスローガンに掲げ、神奈川県演劇連盟が毎年開催している演劇の祭典。秋の芸術シーズンを中心に、加盟劇団の公演を連続的にフェスティバル形式で展開。

今年度の演劇フェスティバルに参加を予定している団体をご紹介します。（※2021年7月時点）

theater 045 syndicate



■演目 「ヨコハマ・ヤタロウ～望郷篇～」

■公演 2021年9月30日(木)～10月3日(日)

■会場 KAAT神奈川芸術劇場(大スタジオ)

2011年、主宰の中山が地元である神奈川からの発信のため設立。劇場公演の他、拠点である横浜ベイサイドスタジオでの実験的なアトリエ公演、中華街でのライブ・ダンスとのコラボレーションイベントなども行う。地元横浜を題材にした作品も多く作っている。

劇団こゆるぎ座



■演目 「相州名物 小田原提灯縁起」

■公演 2021年10月16日(土)～17日(日)

■会場 小田原三の丸ホール 大ホール

戦後の荒廃した時代に「我等はこの小田原が、日本文化の一要素たるの現在と未来を信ずる」を信条として萌芽し、たゆまなく自主公演を続けてきた。また、小中学校への巡回公演、朗読会、よい子のためのファミリー劇場など、地域文化の発展と向上の一翼を担っている。

G/9-Project



■演目 「リアル～真夜中の遊園地～」

■公演 2021年10月23日(土)

■会場 かながわアートホール

1993年の旗揚げから28年間、横浜を中心に活動しています。10代～50代まで幅広い年代が所属しており、上演作品はコメディ、シリアス、ファンタジーと多種多様です。「メンバーがやりたい事をやる」をモットーに邁進しています！

劇団横濱にゆうくりあ



■演目 「モノログの可能性2021」

■公演 2021年11月6日(土)～7日(日)、13日(土)～14日(日)

■会場 劇団本部スタジオ(戸部駅)

横浜をテーマ、舞台、イメージとしたオリジナル作品上演を目指している。さらに舞台公演だけでなく、映像作品製作にも積極的に取り組んでいる。

演劇プロデュース『螺旋階段』



■演目 「小田原みなとものがたり」

■公演 2021年11月12日(金)～14日(日)

■会場 小田原三の丸ホール 小ホール

2006年小田原にて創設。小田原で秋公演、横浜で春公演を行い年二回のペースで公演を行っている。働きながら芝居へ情熱を傾け、時間をかけて一作品を仕上げています。全作品を緑慎一郎が脚本と演出を担当。

劇団蒼い群



■演目 「去年、次郎さんが熱望(?)した チェーホフ やっっちゃう?!」

■公演 2021年11月13日(土)～14日(日)

■会場 横須賀市立青少年会館ホール

昭和46年に設立された劇団。年に1回秋に横須賀で公演をしている。日本の現代劇からフランス古典劇まで、幅広いレパートリーが特徴。

劇団かに座



■演目 「オイル089」

■公演 2021年12月3日(金)～5日(日)

■会場 関内ホール・小ホール

横浜でドラマを創ろう！をモットーに1950年に結成。俚謡「青木の台を左から見れば、今の横浜昔しゃあの地が蟹が浜」より、横浜の地に根差した芝居を演りたいという思いから「劇団かに座」と命名。この1年間で劇団員が10名増えました。新生かに座をお楽しみに。

劇団河童座



■演目 「日本発難民船物語 ～令和版～」

■公演 2021年12月4日(土)～5日(日)

■会場 横須賀市立青少年会館ホール

1951年に横須賀の高校生演劇部0Bを中心に創立。名前の由来は、自由と創造をテーマとして書かれた芥川龍之介の「河童」から。主宰横田和弘のもと10代から80代までの幅広いメンバーが在籍。愉快で芝居馬鹿が揃っている集団、それが劇団河童座です。

京浜協同劇団



■演目 「井戸の茶碗」「ベートーベンの生涯」
「酒と役人と婆さんと」

■公演 2021年12月3日(金)～5日(日)、10日(金)～12日(日)

■会場 スペース京浜

劇団結成は1959年12月。「この日、この地で、この人々と」を合言葉に、川崎幸区にアトリエ公演可能な大小二つの稽古場をもち、地元川崎・横浜など京浜工業地帯で活動が続けてきた地域演劇集団。

TAK in KAAT 情報

ヨコハマ・ヤタロウ～望郷篇～

KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）

2021年9月30日(木)～10月3日(日) 上演予定

今作『ヨコハマ・ヤタロウ～望郷篇～』は、2019年1月に下北沢劇場B1において上演し、大好評をいただいた『ヨコハマ・ヤタロウ』の続編です。前作同様、岸田國士戯曲賞受賞作家、劇団B級遊撃隊の佃典彦氏による新作書き下ろしです。

前作は「世紀末人情活劇」というキャッチフレーズを謳い、佃典彦氏の遊びゴコロあふれる痛快

な台詞と、独自の世界観を生み出す演出により大変な好評をいただきました。

今作もその世界観をそのままに、昭和の人情の世界に、横浜のクールな空気を吹き込むエンターテインメント作になります。

私たちtheater 045 syndicate は2019年より神奈川県演劇連盟に加盟しました。

そして団体設立10年の節目でもある今年にこ



の様に TAK in KAATで上演する機会をいただいたことは、私たちにとって今までにないスケールの作品をつくるチャンスでもあります。

脚本は古くから親交のある佃典彦氏が執筆します。昨年、TVドラマ『半沢直樹』において俳優としても大ブレイクを果たしました。客演陣には新国立劇場から小劇場まで縦横無尽に活躍されている横浜市在住の寺十吾さんをはじめ、ベテランから若手まで各方面で活躍されている俳優がそろいました。加えて、神奈川県演劇連盟からは虹の素の木之枝棒太郎さん、横浜を拠点に活動している劇団夢幻の佐藤みつよさんが出演されます。

このような時代のなか、演劇の底力を知らしめることができるよう、もちろんコロナウィルス感染対策に万全を期して臨みます。

横浜にいる演劇ファン、演劇に初めてふれるお客様も楽しめるエンターテインメント作です。この作品が私たちの地元での活動のさらなる飛躍となるよう、全力を尽くします。

皆さま、何卒劇場でご覧ください。お待ちしております！

文：中山朋文 (theater 045 syndicate)

theater 045 syndicate × TAK in KAAT

第3回劇場公演

ヨコハマ ヤタロウ

～望郷篇～



2021年 9月30日(木)～10月3日(日)

KAAT 神奈川芸術劇場〈大スタジオ〉

2019年、シモキタを飛び出した‘世紀末人情活劇’が
地元凱旋！

作：佃典彦 演出：中山朋文

出演 今井勝法 今井あずさ 中野マサキ 葉山昂 日暮玩具 小野由香
佐藤みつよ 真坂雅 木之枝棒太郎 神岡実希 中山朋文
寺十吾

続報は...

<https://www.045syndicate.yokohama>

twitter: @045syndicate

fb: @theater045

を check !

提携: KAAT 神奈川芸術劇場

ハマで待ってるぜ！！

神奈川県演劇連盟加盟団体（50音順）

演劇プロデュース『螺旋階段』
京浜協同劇団
劇団蒼い群
劇団河童座
劇団かに座
劇団唐ゼミ☆
劇団こゆるぎ座
劇団砂からマカロン
劇団820製作所
劇団「無題」

劇団横濱にゅうくりあ
theater 045 syndicate
G/9-Project
虹の素
プラスチックな月
マシュマロ・ウェーブ
まりこ☆みゅーじあむ
MPinK(ミュージカルプロジェクト in 神奈川)
横浜小劇場（横浜演劇研究所附属）

演劇資料室をご利用ください

演劇資料室では、外国や日本の戯曲をはじめ、演劇雑誌等多くの演劇図書を取り揃えており、戯曲などの無料貸し出しもしています。ご利用は1回3冊まで、2週間借りられます。また、神奈川県内のアマチュア劇団の活動記録もございますので大いにご利用ください。皆様のお越しをお待ちしております。



【開室時間】※当面の間

平日（火曜～金曜）

13:00～**20:00**（貸し出しは19:30まで）

土曜・日曜・祝日（月曜以外）

10:00～**20:00**（貸し出しは19:30まで）

【休室日】

月曜、年末年始

※コロナウイルスの影響で開室時間に変更が生じております。ホームページをご確認の上、お越しください。

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-1

神奈川県立青少年センター2階 演劇資料室 電話：045-286-4485

DRAMAかながわ 83号

【発行】神奈川県演劇連盟（2021年7月31日）

【編集】オッスたかのり（劇団かに座）、吉浜直樹（劇団横濱にゅうくりあ）、穂村一彦（劇団「無題」）、
緑慎一郎（演劇プロデュース『螺旋階段』）、野比隆彦（studio salt）、波田野淳紘（劇団820製作所）

【ホームページ】<http://kenenren.org/>

